

甲州アルプス *Haute Route Challenge*

山岳縦走競技



この大会は、甲州アルプスオートルートチャレンジの開催運営を行う事業をはじめ、甲州アルプス周辺の地域資源の発掘と利活用のための活動、森に親しむ活動、里山里地再生活動、登山・ランニング・農林業知識の普及啓発に関する各種活動を行い、地域の社会および経済の活性化に寄与することを目的としています。

甲州アルプスオートルートチャレンジ実行委員会

はじめに

これまで感染症対策として中止や規模縮小、様々な予防策を講じて進めてきたスポーツイベントですが、生き残った大会、力尽き、終了を選択した大会と地域により様々な動きがありました。全国に420を超えるトレイルランニングレースがあった中で、昨年までに復帰・開催できた大会は半分ほどしかありませんでした。甲州アルプスオートルートチャレンジは、2021年、2022年大会の開催を成功させることができましたが、大会を主催する側である大会事務局の徹底した感染予防策と、開催されるまちや地元の方々のご理解とご協力、さらには医療機関との相互理解など、まちが一体となって成されたものです。ご尽力いただいた皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。今後も、山沿いの地域の課題となる過疎化・高齢化問題、里山の荒廃に歯止めをかけ、里山再生・活用のいち手段として根付いていくように努力してまいります。

第3回大会よりスタートしました小中学生の部門、そして第5回大会からスタートしました大人のビギナーカテゴリーにつきましては、昨年に引き続き本年度も開催いたします。自然とのふれあいの場作りをするとともに、アウトドアアクティビティとして、また競い合う活動を通して心身の成長を促すためのきっかけ作りをしていきます。里山にすむ子ども達には特に山との関わり方、楽しみ方を知る機会になってくれたらと願います。

マラソン・ロードレースと同様、競技運営上の予期せぬ事態やレース中の事故も発生することがあります。新型コロナウイルス感染拡大に伴う各種イベントの開催自粛を決断する団体もまだまだあります。大会の運営においては行政や警察、周辺住民等各所との調整、ランナーの安全確保のための細心の注意が必要であり、山岳スポーツで起こりうるリスクにきちんと対応できる組織作りが不可欠です。本大会事務局では、大会要項・規約と併せ、山岳縦走競技会の安全・安心な運営に必要と考えられるガイドラインを作成し、より楽しく安全に大会を運営できるよう取り組んでまいります。

本イベント、『甲州 ALPS Haute Route Challenge』が地域の活性化に貢献できるイベントとして根付いていくように、今できることを最大限にやっていきたいと考えています。

実行委員長 小川 壮太



目次

はじめに

1. 大会要項・規約 P.4~P.8
2. 参加者の事前準備 P.9
3. コース設定 P.10
4. 医事対策 P.11
5. 天候対策 P.12
6. 大会役員・ボランティア P.13
7. 大会コースマップ P.14~P.20



1. 大会要項・大会規約

【大会要項】

主催 甲州アルプスオートルートチャレンジ実行委員会

後援 甲州市、甲州市教育委員会

大会会長 甲州市教育長 小林 俊彦

実行委員長 甲州市観光大使 小川 壮太

運営協力 甲州大菩薩ネルチャークラブ

大会 HP 甲州アルプスオートルートチャレンジ <https://kousyu20171119.jimdo.com/>

開催日 2023年11月5日(日)

会場 甲州市塩山ふれあいの森総合公園(山梨県甲州市塩山小屋敷1897)

選手受付 11月4日(土)午後1時から午後5時 (全カテゴリー)

11月5日(日)午前2時から午前3時30分(オートルートチャレンジ、クレーシャ108)

午前4時から午前5時30分(リリールートチャレンジ)

午前7時から午前8時30分(マロニエルートチャレンジ)

午前7時から午前9時30分(トレイルクエスト)

種目・定員	距離	累積獲得標高	定員
クレーシャ108(オート+マロニエ)	108km	6500m	定員50名程度
オートルートチャレンジ	70km	4700m	定員250名程度
リリールートチャレンジ	55km	3600m	定員250名程度
マロニエルートチャレンジ	36km	1900m	定員250名程度
トレイルクエスト	1・2年の部	1.5kmコース	定員50名程度
	3・4年の部	3.0kmコース	定員50名程度
	5・6年の部	3.0kmコース	定員50名程度
	中学生の部	4.5kmコース	定員50名程度
	高校・一般の部	4.5kmコース	定員50名程度

○「クレーシャ108」について

クレーシャ108は、1ラップ目にオートルートチャレンジコース、2ラップ目にマロニエルートチャレンジコースを回る周回レースです。1ラップ目終了後、ドロップバッグを回収し、準備ができ次第リスタートとなります。1ラップ目制限時間となる午後4時までにリスタートし、全カテゴリー制限時間である午後10時までにフィニッシュできれば完走です。1ラップ目をクリアし、2ラップ目がクリアできなかった場合、オートルートチャレンジ完走となりITRAポイントは付与されますが、オートルートチャレンジカテゴリーの着順は付きません。

スタート時刻	種目	時刻
午前4時00分	オートルートチャレンジ・クレーシャ108	
午前6時00分	リリールートチャレンジ	
午前9時00分	マロニエルートチャレンジ	
午前9時30分	トレイルクエスト 1・2年の部	
午前10時00分	3・4年の部	
午前10時00分	5・6年の部	
午前10時30分	中高・一般の部	

ペーサー※ クレーシャ108、オートルートにペーサーの帯同が可能になります。

クレーシャ 108：大和自然学校から 1 ラップ目終了時に交代可能（交代する時は次のペーサーにピブを渡す）

オートルートチャレンジ：大和自然学校（JR 中央本線 甲斐大和駅より 3 km）から

※ペーサーのスタート地点には、各自で移動をお願いいたします。

ドロップバッグ クレーシャ 108 およびオートルートに出場の選手は、大和自然学校にてドロップバッグを受け取ることができます。クレーシャ 108 に出場の選手は、1 ループ終了後にも受け取ることができます。スタート前に荷物預かり所にお預けください。

制限時間	クレーシャ 108	18 時間（午後 10 時まで）	1 ラップ目	12 時間（午後 4 時まで）
	オートルートチャレンジ	17 時間（午後 9 時まで）		
	リリールートチャレンジ	15 時間（午後 9 時まで）		
	マロニエルートチャレンジ	11 時間（午後 8 時まで）		
	トレイルクエスト	1・2 年の部	1 時間程度（午前 10 時 30 分頃をめぐりに）	
		3・4 年の部	1 時間程度（午後 11 時頃をめぐりに）	
		5・6 年の部	1 時間程度（正午 11 時頃をめぐりに）	
		中学生および高校・一般の部	1 時間程度（午後 11 時 30 分頃をめぐりに）	

※トレイルクエストは各部門のランナーがゴール後に次のカテゴリーがスタートします。スタート時間は目安となりますのでご承知おきください。

参加賞	クレーシャ 108	：大会オリジナルキャップ
	オートルートチャレンジ	：大会オリジナルキャップ
	リリールートチャレンジ	：大会オリジナルTシャツ
	マロニエルートチャレンジ	：大会オリジナルヘッドバンド
	ペーサー	：大会オリジナルヘッドバンド
	トレイルクエスト	：大会記念品（学校パン）

完走証 大会当日に完走証を発行

参加料金	クレーシャ 108	：25,000 円※	
	オートルートチャレンジ	：17,000 円※	※ペーサー帯同は+5000 円
	リリールートチャレンジ	：13,000 円	
	マロニエルートチャレンジ	：10,000 円	

ふるさと納税枠（オートルート、リリールート、マロニエルート 各 20 名）

オートルート：60,000 円、リリールート：50,000 円、マロニエルート：40,000 円

トレイルクエスト：小学生・中学生・高校生：2,000 円、一般 3,000 円

参加資格

○オートルートチャレンジを 12 時間以内に完走している方。または同等の力量がある方。

○オートルートチャレンジ：18 歳以上の男女（高校生不可）。過去 3 年間※で 50km 以上の国内外のトレイルランニングレースを制限時間内に 2 大会以上完走している方。またはリリールートを完走した方。

○リリルートチャレンジ：高校生以上の男女。過去3年間※で40km程度のトレイルランニングレースを制限時間内に完走している方。

○マロニエルートチャレンジ：中学生以上の男女。20km程度のトレイルランニングレースまたはロードレースを制限時間内に完走している方。

○トレイルクエスト：起伏のあるランニングコースを1人で安全に走ることができる方

○全コース共通：規定のコースを迷わず通過し、帰って来られる方。

※2020年6月1日～2023年8月31日

クレーシャ108（108km・6500D+）

1周目：オートルート（以下参照）

2周目：マロニエルート（以下参照）※オートルート帰路を逆走するかたちでリスタート。公園は周らない。

オートルートチャレンジ（70km・4700mD+）

ふれあいの森総合公園—文殊院入り口—登山道分岐—恩若峰—キリガ尾根分岐—源次郎岳—上日川峠—親水広場—小屋平バス停—天狗棚山—狼平—小金沢山—牛奥雁ヶ腹擦山—黒岳—湯ノ沢峠—大蔵高丸—ハマイバ丸—米背負峠—大谷ヶ丸—曲沢峠—景德院—竜門峡入り口—大志戸遊歩道—三角コンバー隠れっ窪—牛奥峠—深沢峠—大滝山—棚横手山—富士見台—雌滝の沢—馬窪—市営林道—中原—牛奥トンネル—登山道分岐—文殊院入り口—ふれあいの森総合公園

リリルートチャレンジ（55km・3600mD）

ふれあいの森総合公園—文殊院入り口—恩若峰—キリガ尾根分岐—源次郎岳—上日川峠—親水広場—小屋平バス停—天狗棚山—狼平—小金沢山—牛奥雁ヶ腹擦山—ペンションすずらん—上日川林道—源次郎岳登山口—蛤岩—牛奥峠—深沢峠—大滝山—棚横手山—富士見台—雌滝の沢—馬窪—市営林道—中原—牛奥トンネル—登山道分岐—文殊院入り口—ふれあいの森総合公園

マロニエルートチャレンジ（36km・1900mD）

ふれあいの森総合公園—文殊院入り口—恩若峰—源次郎岳—蛤岩—牛奥峠—深沢峠—大滝山—棚横手山—富士見台—雌滝の沢—馬窪—市営林道—中原—牛奥トンネル—登山道分岐—文殊院入り口—ふれあいの森総合公園

【大会規約】

参加者は以下の条項を読み、これらの規約に従って下さい。これらの注意を怠った場合は、失格を含む厳重な処分を行うことがあります。

- ①選手および大会参加者は、過去2週間の健康チェック（検温、風邪の諸症状の有無の確認等）を各自で行い、体調不良や何らかの症状が認められる場合は参加を控えてください。
- ②参加者は、必ず大会役員およびコース誘導員の指示に従ってください。
- ③大会中に体調不良等により中止（棄権）する場合は、コース上の役員・誘導員に必ず申し出てください。
- ④大会役員・大会スタッフは、必携品の不備、また体調不良やケガなどでチャレンジ続行が困難と判断された参加者に対し、強制的に参加辞退、途中棄権を宣言する権限を有します。

失格事項

- ①大会中にごみを投棄したり、指定コース外に立ち入ったりするなど、自然環境保護に違反する行為があった者
- ②大会役員およびコース誘導員の指示に従わなかった者
- ③年齢・性別を偽っての申告や、申し込み者本人以外が参加する等の不正行為があった者
- ④所定の時間内に関門を通過できなかった者および参集制限時間内にゴールできなかった者
- ⑤ナンバーカードを着用しなかった者(ナンバーカードは折り曲げたりせず、正面に見える様に付けてください)
- ⑥イヤホン等で耳をふさぎ、周囲の音が聞こえない状態で走行した者(補聴器具は除く)
- ⑦大会関係者以外の入山者の通行を妨げ、危険な走行をした者
- ⑧必携品を携行しないで走行した者(各エイドで必携品チェックがあります)
- ⑨その他不正行為およびマナー違反があった者
- ⑩過度な仮装を行い、狩猟時期のハンターを困惑させる可能性がある格好で出走しようとする者

開催中止基準

気象警報の発令時や天候等の影響でコースが荒れている、また参加者の安全が確保できないと判断した場合は原則中止とします。なお、天候等の推移を見て安全に開催できると判断した場合は、大会の再開またはコース変更して開催する場合があります。

大会中について

○エイドステーション

コース内には7ヶ所(オートルートチャレンジコース)のエイドステーション(給水・給食所)を設けます。水、コーラ、バナナ、梅干しなどの補給物の他、地元の名産品を用意しますが、各自必要と思われる水分、行動食をご自身で携行してください。

○必携品

【クレーシャ108、オートルート、リリールート、マロニエルート】

ココヘリ※、熊鈴、コースマップ、携帯電話、ファーストエイドキット(絆創膏、固定テープ、ポイズンリムーバー、エマージェンシーシート等)、ライトと予備バッテリー(ライト2個でも可)、ホイッスル、マイカップ、レインウェア上下(ゴアテックスか同等の防水機能を有するもの)、長袖の上着、上着3レイヤー(レースウェア、長袖の上着、レインウェアを含む)、下着2レイヤー(レースウェア、レインを含む)、グローブ、キャップまたはヘッドバンド、水1L以上、携行食

※2022年大会より、携行するココヘリは各自でご用意ください。これにより参加者が何らかのアクシデントに巻き込まれてしまった際により迅速な対応が期待できます。ココヘリにつきましてはこちらをご参照ください。

<http://hitokoko.com/cocoheli>

○推奨品

予備ライト、ポール(保護キャップの着用推奨)、サングラス、トレイルラン専用のシューズ、チェーンスパイク(降雪・凍結時)

【トレイルクエスト】

必携品：手袋

推奨品：キャップまたはヘッドバンド等、転倒時に頭を守れるもの、タイツ

○リタイアする場合

途中、何らかのアクシデントでチャレンジを中止する場合は、必ずコース誘導員やエイドステーション担当に名前とナンバーカードの番号を伝えてください。その場で伝えることができない場合は大会本部まで連絡してください。参加者の所在確認が取れない場合は捜索することになりますのでご注意ください。

○コース誘導について

コース上には誘導看板や誘導テープ（幅 10 cm 程度の水色のビニールテープ）を分岐点や分かりにくい箇所、危険箇所など各ポイントに設置してあります。コースが分からなくなった時などは、むやみに先に進んだりせず、冷静に来た道に戻り、あらためて看板やテープを確認して正しい道を進むようにしてください。200m に 1ヶ所ずつには必ずテープを設置します。200m 進んでも誘導テープが見つからない場合は、来た道に戻ってください。コース誘導員は交差点や道路横断地点に配置していますが、コースは必ず自分自身で確認して進んでください。コース誘導員の指示には必ず従ってください。指示に従わない場合、失格となる場合があります。

○参加者は以下のことに特段の注意を払い、レースに参加してください。

①自然保護に関すること

- ・コース以外への立ち入りは絶対にしないよう注意してください。先行者を追い越す時やハイカーとすれ違う時も必ずコース上を通行してください。
- ・コース上でのポール等の使用は、自然保護の観点からゴムキャップの着用を推奨します。

②ハイカーや地元住民および参加者への配慮

- ・コース上にはハイカーなどの入山者や地元住民も通行しています。追い越しやすれ違いの際には、積極的に声をかけて挨拶を交わし、不快な思いをさせないように、道を譲り合って通行するように心がけてください。
- ・レースを支えてくれる地元関係者やボランティアの方への感謝の気持ちを忘れないでください。

③安全管理に関すること

コースは全て自然の中にあり、状況は常に変化しています。参加者はこのことをよく理解し、無理をせず十分に注意を払ってコース踏破に挑んでください。

- ・本大会は山岳耐久コースであるため迅速な救急対応ができない場合も想定し、健康管理には十分留意し、事前にメディカルチェックを受けるなど万全な体調でコース踏破に臨んでください。
- ・コース上では風雨、霧など気象状況の変化で天候が急変し、低体温症になることが予想されます。事前の準備も入念に行なってください。
- ・大会本部には医療スタッフを配置し、ケガや病気の応急処置に備えています。また、コース上のエイドステーション（給水所）には救護車両を待機させ、ケガ人やリタイア者の搬送などを行えるようにしています。
- ・ケガや病気で具合が悪い参加者がいた場合、お互い助け合い、最寄りのスタッフまたは大会本部へ連絡をしてください。電話番号はナンバーカードに明記してあります。
- ・大会主催者は、参加者の事故やケガなどに備えて傷害保険に加入しています。

お問い合わせ

甲州アルプスオートルートチャレンジ実行委員会 事務局

☎ 070-2632-9969 ✉ kousyu20171119@gmail.com

2. 参加者の事前準備

現在、日本各地で開催されているトレイルランニングレースに参加する方々は、日々のトレーニングを十分に積み、山の知識・経験を持ち合わせている人ばかりではありません。大会を開催する前に、自分の安全を確保し無事にレースを踏破するためのアドバイスをしたり、他の参加者や入山者に迷惑をかけないためのルール・マナーを理解したりする必要があります。それらにつきましては、大会ホームページ、ポスター、パンフレット等で参加者に周知徹底していきます。

(1) 体調管理

体調が悪い時には大会に参加できません。自身の体調をよく考えて大会参加を決断していただきます。特に大会当日のスタート時間が早いので、オートルートチャレンジ参加者は原則として前泊必須としています。事前のブリーフィングでも「風邪気味」、「睡眠不足」、「朝食抜き」等のコンディション下で大会に参加することがないように、注意喚起を行います。

(2) 栄養指導・水分補給

山中を駆け巡るとい運動は、ロードラン以上にエネルギーを消費します。自身のパフォーマンスに合った量の飲食物を携行することを必須とします。大会中はエイドステーションを約 10km ごとに設置し、補給食を提供するとともにエイド出発時には十分な飲み物（1L 以上）を必携とすることをルール化します。

(3) 天候対策

天候に合わせたウェアリングを紹介し、必携品にも上着 3 レイヤー（レースウエア、長袖の上着、レインウエア）、下着 2 レイヤー（レースウエア、レインウエア）の必携をルール化し、携行していない者は失格とします。その他、大会当日の天候に合わせて、スタート前に必要なウエア類の携行を呼びかけます。

(4) 試走会の実施

大会コースを安全に通行するため、詳しいコースマップを公開するとともに大会コースの試走会を実施します。試走会では、コンディショニング、栄養・水分補給、ウェアリング、コース通過時のルール・マナーについても紹介し、自己責任のもと安全に大会を踏破するためのノウハウを指導します。

(5) 参加条件のクリア【参加資格】

- クレーシャ 108：過去 3 年間（2020 年 6 月 1 日～2023 年 8 月 31 日）で 50km 以上の国内外のトレイルランニングレースを制限時間内に 2 大会以上完走している方で、過去オートルートを 12 時間以内に完走するか、それと同等の力量のある方。
- オートルートチャレンジ：過去 3 年間（2020 年 6 月 1 日～2023 年 8 月 31 日）で 50km 以上の国内外のトレイルランニングレースを制限時間内に 2 大会以上完走している方。
- リリルートチャレンジ：過去 3 年間（2020 年 6 月 1 日～2023 年 8 月 31 日）で 40km 程度のトレイルランニングレースを制限時間内に完走している方。
- マロニエルートチャレンジ：20km 程度のトレイルランニングレースまたはロードレースを制限時間内に完走している方。
- 全コース共通：規定のコースを迷わず通過し、帰って来られる方。
- トレイルクエスト：起伏のあるランニングコースを 1 人で安全に走ることができるお子様

3. コース設定

コースを設定するにあたっては、参加者がより楽しく安全に帰って来られるようにするなど大会主催者側の意向を加味しつつも、参加者が道路および登山道を占有することなく、地域住民や他の入山者に支障をきたさないように配慮します。道路使用にあたっては警察と、また登山道使用にあたっては林務事務所、土地所有者等、関係各所と十分に協議してコース設定を行います。

(1) スタート・フィニッシュ地点

参加者が集まるだけでなく、多くの観衆で混雑することが予想されます。案内・誘導を徹底して行い、また、導線の確認を事前に行うなどし、危険の排除に努めます。

(2) コース全般

大会を開催するにあたって、参加者だけでなく観衆にも気持ちよく観戦してもらえるように、会場設営に工夫をします。地域住民の迷惑とならないよう、また参加者・大会役員の安全を確保できるよう注意します。

- ・一般市民への交通規制事前通知（市広報、立哨員、立て看板等）
- ・歩行者横断箇所の安全確保（誘導員の立哨、交通法規の遵守）
- ・途中関門での打ち切り時間の徹底、天候悪化等の外的要因による迅速な中止の判断
- ・緊急搬送時のルート確保

(3) コース整備

①給水

各エイドステーションにて、1人あたり水 1.5L 以上を準備します。エイドステーションは 10km に 1ヶ所の間隔で設置します。不足する場合に備えて、エイドステーションの近くで水道水の提供をご協力いただけるボランティアをお願いしたり、飲水可能な湧水を確保したりするなど、不測の事態に備えます。

②給食

各エイドステーションには、給水の他にコーラやチョコレート、スナック菓子、梅干し、バナナなどの補給食に加え、後半にはうどんやパンなどの軽食も用意し、栄養補給ができるよう準備をします。

③トイレ

スタート・ゴールエリアだけでなく、各エイドステーションにてトイレを使用することができます。常設トイレがない箇所には、仮設トイレを設置します。コース上にある施設にも、参加者のトイレ使用のご協力を申請します。

④ごみ対策

本大会では、ごみをコース上に投棄した者は失格とします。しかし、意図せずごみを落としてしまうこともあり、コース上にはごみも出ます。スイーパーがごみ拾いをしながら後走を務めます。また、コース後には現状復帰し、動植物の生態系にも支障が出ないよう、モニタリングを含めたコースチェックを入念に行います。

5. 医事対策

本大会は、国内屈指の山岳耐久チャレンジ大会であるため、制限時間も厳しく、完走率はそう高くないと予想しています。ケガや体調不良によってチャレンジを断念する参加者もいることを想定し、万全の態勢で参加者を迎え、適切な医療サービスを提供するための方策を考慮します。

(1) メディカルチームの設置

大会中における心肺停止などの事故を想定し、医師をリーダーとした組織を構築します。医療救急マニュアルを作成し、医療救護という観点でレース自体を安全で楽しめるものにします。AEDは全部で8台、スタート・ゴール地点に1台、各エイドステーション7箇所にも1台ずつ、設置することで安全確保に努めます。

(2) 救護所

ケガや病気に対して適切な対応を取る救護所をスタート・ゴール地点および各エイドステーションに併設します。救護所があることを標識で示します。救護所ではAED、ファーストエイドキットの他、ドリンク、氷、タオル、ワセリン、毛布を準備します。応急手当を行い、医師の指示に従います。

(3) 救急搬送体制、救急車要請手順

救急車の要請から重篤な状態のランナーをどのように救急車に乗せ搬送するのか。救急車の病院までのルート、家族等への連絡までを緊急事態に備えて体制を作っておきます。

(4) 迅速かつ的確な指示・報告・連絡・相談・連携

携帯電話の電波が届かない箇所の立哨員や、通電箇所の少ないキャリアの携帯電話を持つ立哨員とも的確に情報共有できるようにIP無線機（通信テスト済）を使用します。



6. 天候対策

スタート・ゴール地点と最高到達点（小金沢山・2014m）では、気象条件は大きく違いがあります。悪天候時の対応は迅速に、余裕をもって判断を行います。

（1）暑さ対策

気温や天気に関わらず、十分な水分を携行し、塩分やマグネシウムも併せて補給するなど、体調への気配りを忘れないよう、エイドステーションのスタッフや立哨員が要所で声かけをしています。

（2）雨天対策

コース上、路面が滑りやすい箇所では、特に気を付けて通行できるよう、立哨員が声かけをしています。悪天候の予報が出ている場合には事前にコース変更を行い、安全確保に努めます。天候の急変には速やかにコース変更を行い、エスケープルートを使って参加者を安全な場所に誘導します。

（3）悪天候時・自然災害時の対応

落雷、強風・突風の他、巨大地震等、予測が不可能な自然現象が発生した場合、万が一のための緊急連絡体制、避難・誘導の方法・手順を整理し、大会役員に徹底します。

（4）参加者への伝達、誘導方法

緊急連絡体制により、大会役員に指示を行い、参加者へ伝達する際のことを考慮して、ハンドスピーカー等を各エイドステーションに配備しておきます。声かけや誘導を行う際には、参加者や周りの観衆がパニックにならないよう、落ち着いた言動を心がけます。



7. 大会役員・ボランティア

運営に携わる方々にはそれぞれの役割がありますが、自身の持ち場だけでなくできるだけ周辺業務の流れも理解し、不測の事態が発生した際、誰と連絡を取ればよいのか、少なくとも誰に聞けば分かるのかを共有しておきます。

(1) 事前準備

マニュアルおよび緊急連絡体制を整備し、大会役員に内容を周知徹底するために事前のミーティングを行います。また、参加者や沿道・登山道で応援する観衆への対応として、スタート時間、制限時間、次の〇〇までの距離、トイレの場所等、よく聞かれそうな質問は、あらかじめチェックしてすぐに答えられるよう準備しておきます。

(2) 適正人員

参加者が安全に通行できるように必要な、適正人員を確保し、適時交替するなどして立哨員がいないということがないようにします。警察からの道路使用許可条件等を参考に関係機関と連携しながら適正な人数を配置します。

(3) 大会役員とボランティアとの役割分担

大会役員とボランティアスタッフとの役割分担を明確にします。お互いが協力し合い、自身の責務を果たせるよう連携をとっていきます。

(4) 大会役員、ボランティアの募集

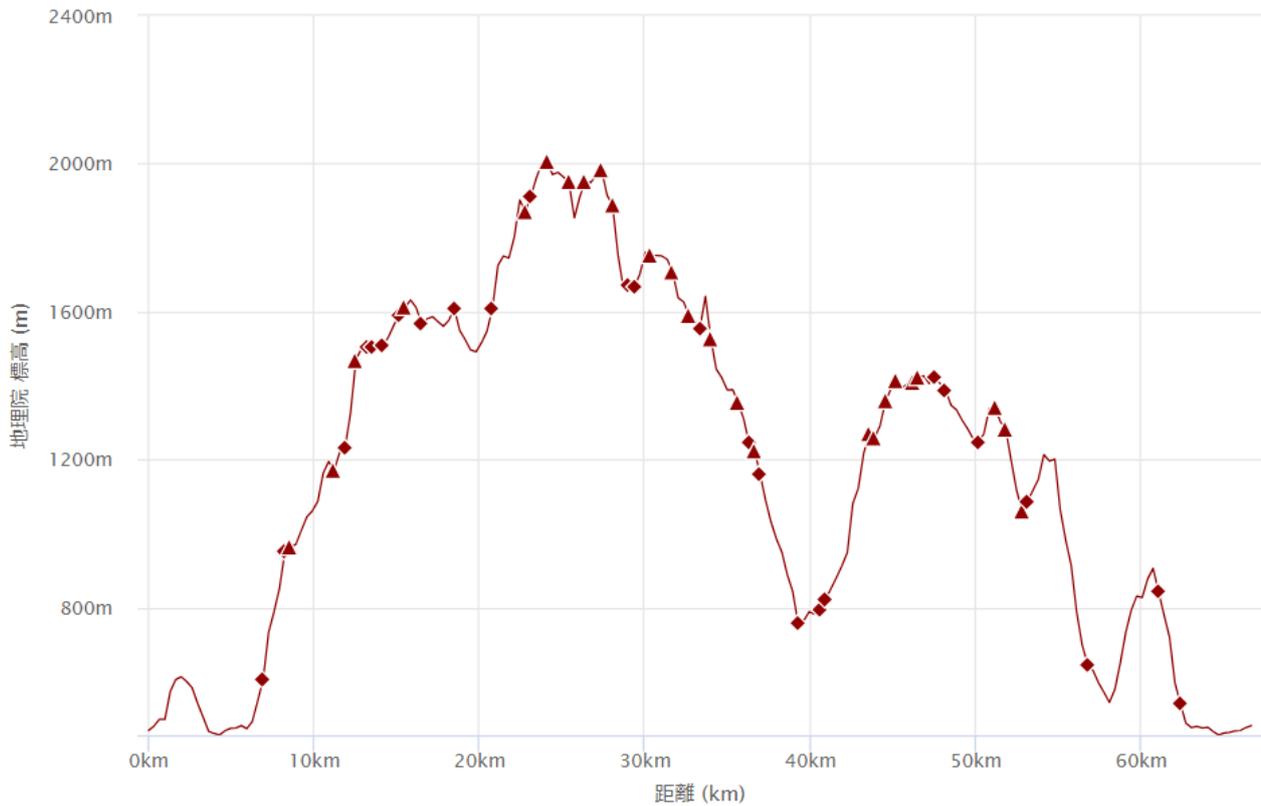
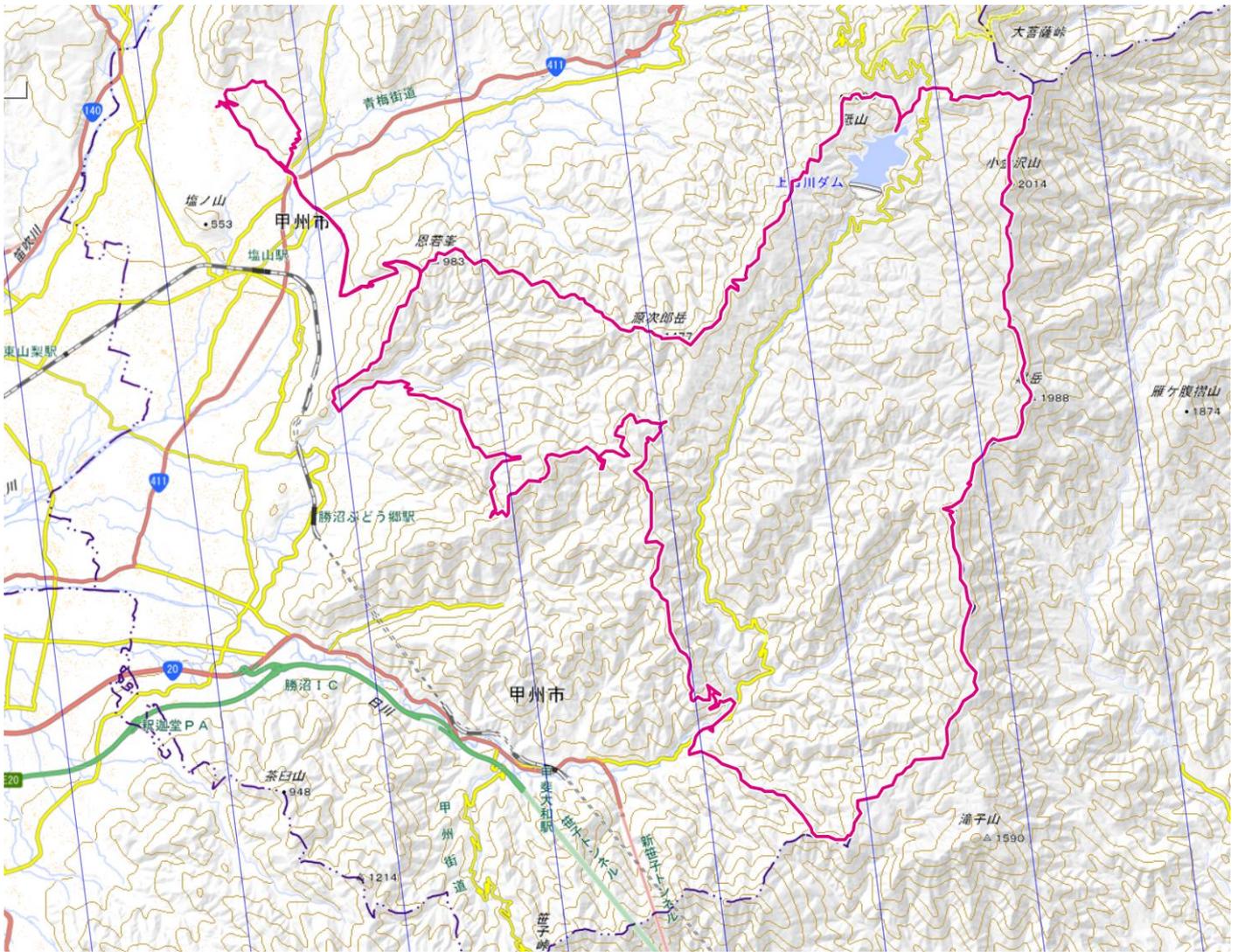
関係各所に大会役員、ボランティアスタッフの協力要請を行います。入山しての立哨員には、山登りの経験者をお願いします。

(5) 苦情・要望への対応

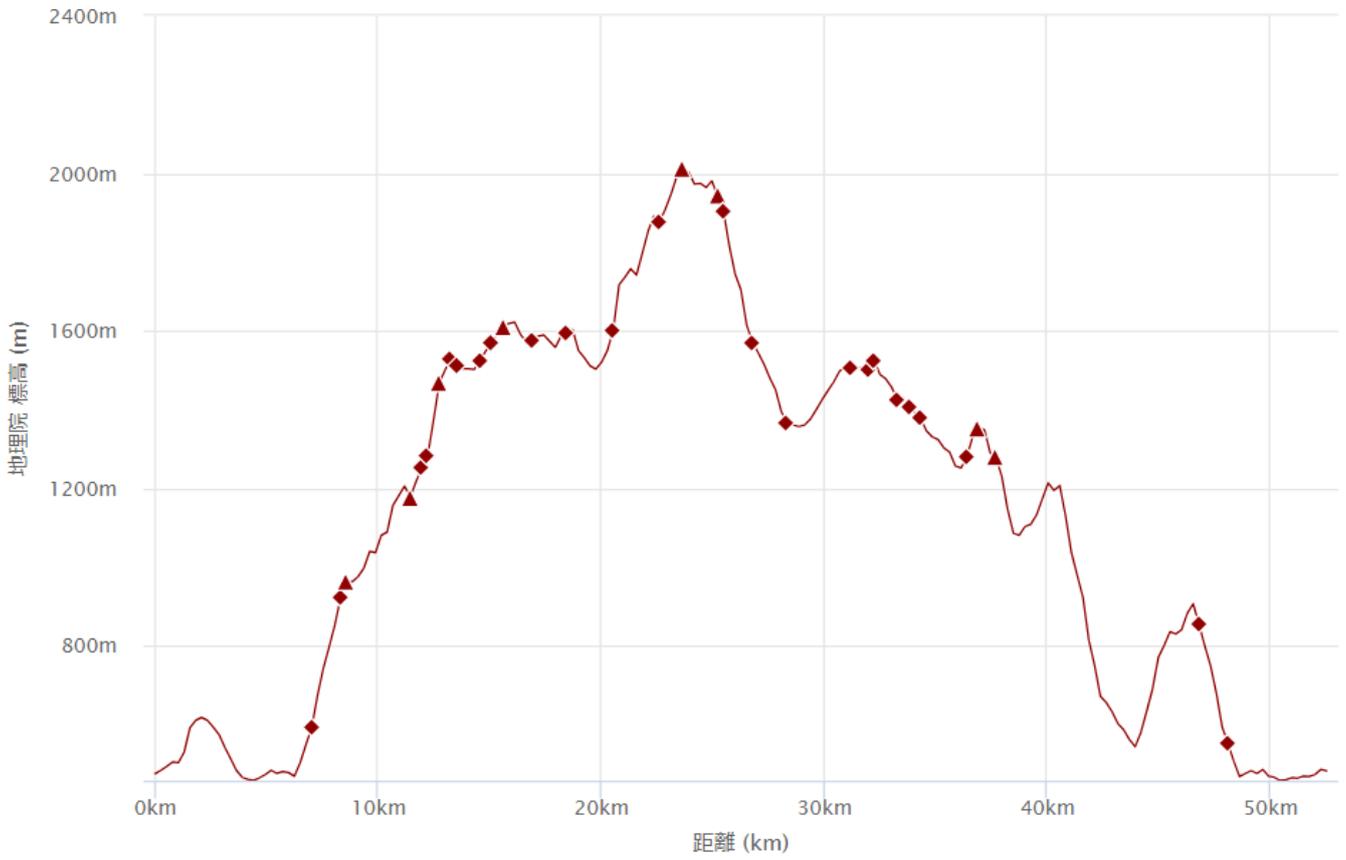
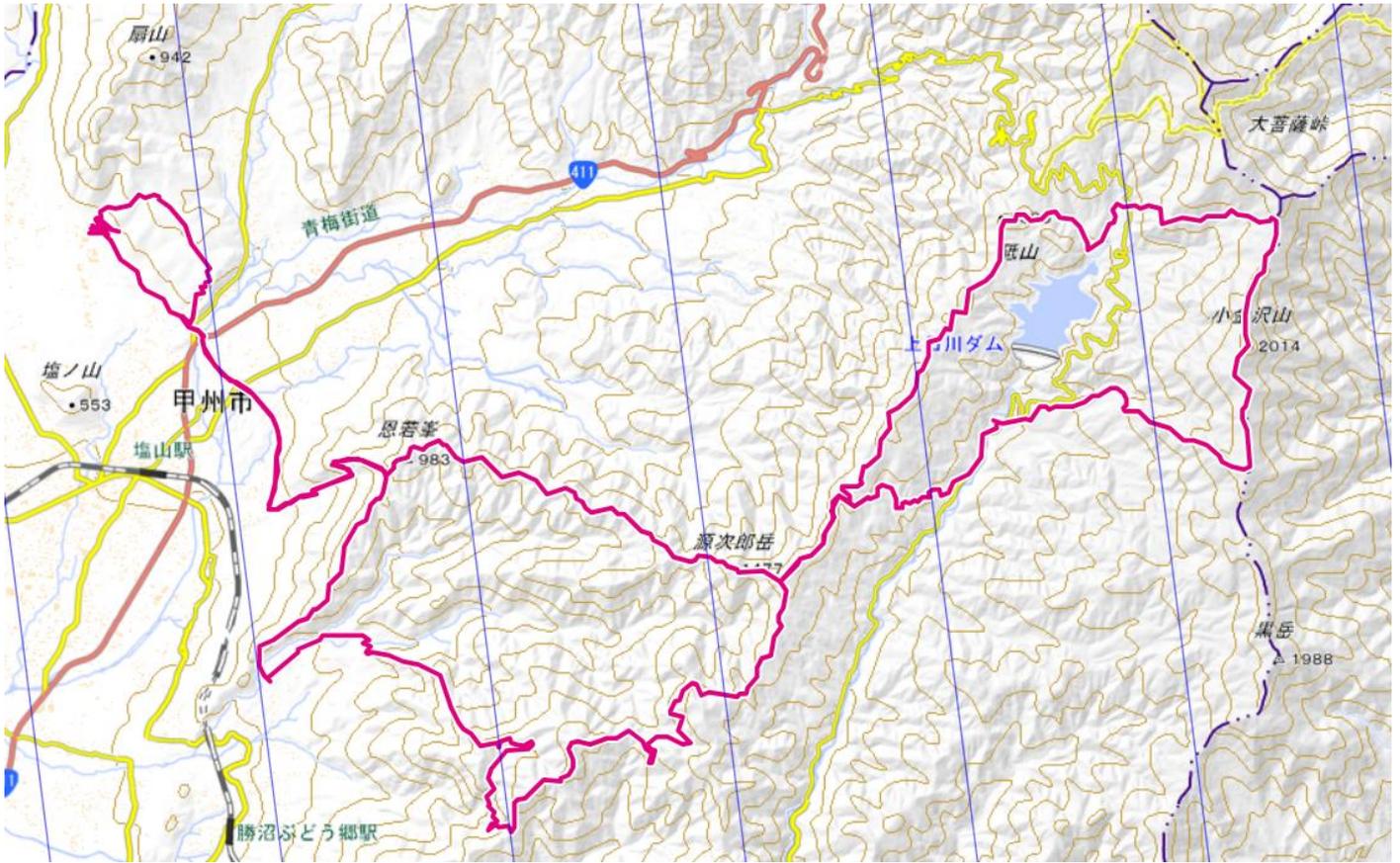
苦情を受けた際にまず重要なこととして「傷口を広げない」「ダメージを最小限にとどめる」ことを第一に対応します。そのためにも、ルールを熟知し、全体の状況を把握でき、できるだけ丁寧に対応・説明できる大会役員（実行委員長）を窓口に対応します。ミスは素直に認めて謝罪し、その対応策を早急に検討して示すようにします。あらかじめ想定される対応マニュアルを整備し、分からないことはすばやく担当部署に確認をするよう確認をしておきます。



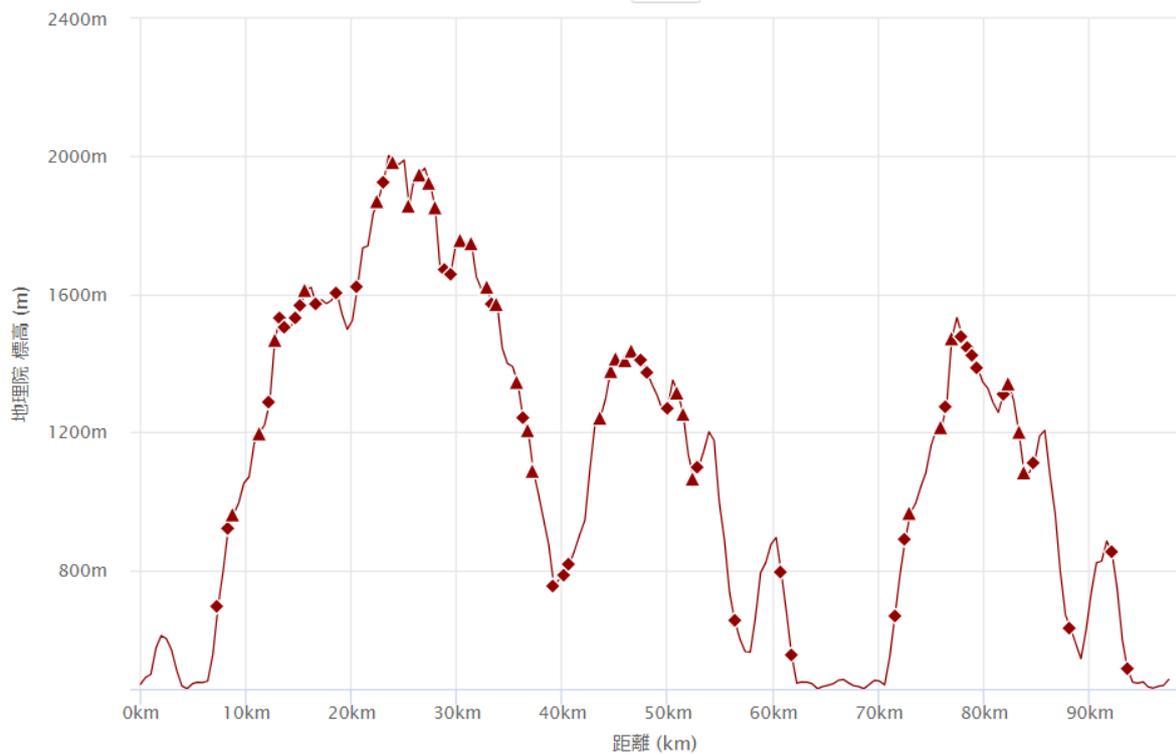
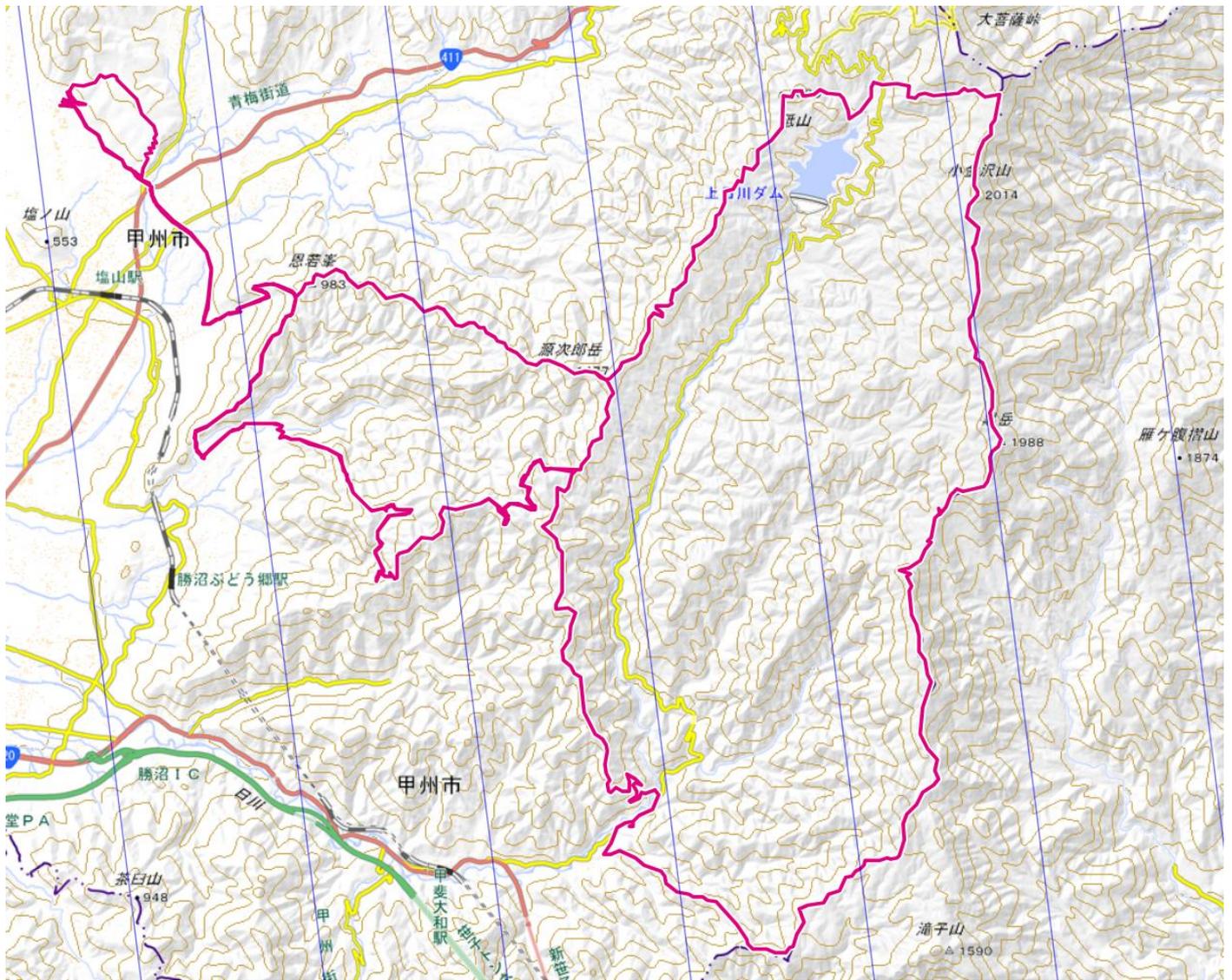
オートルート 70 km、4700m+



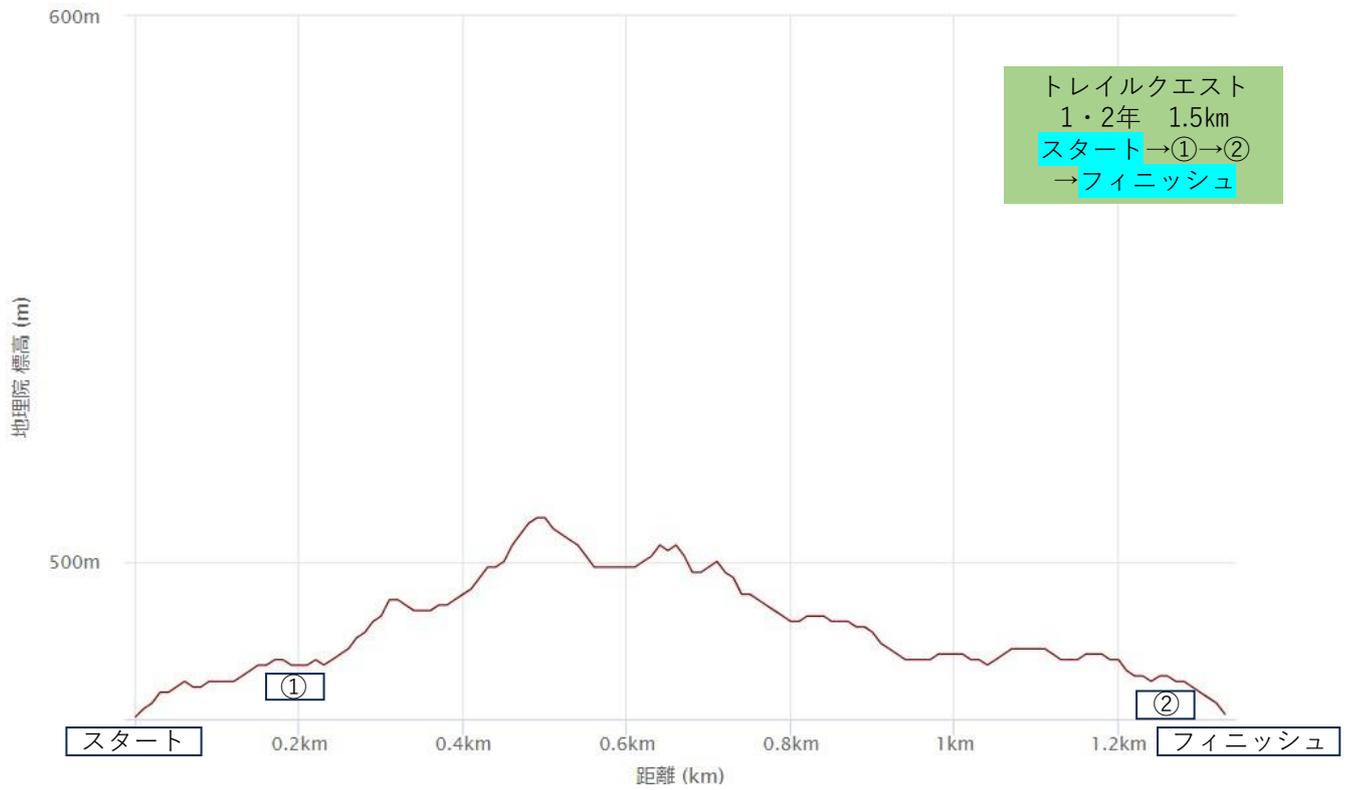
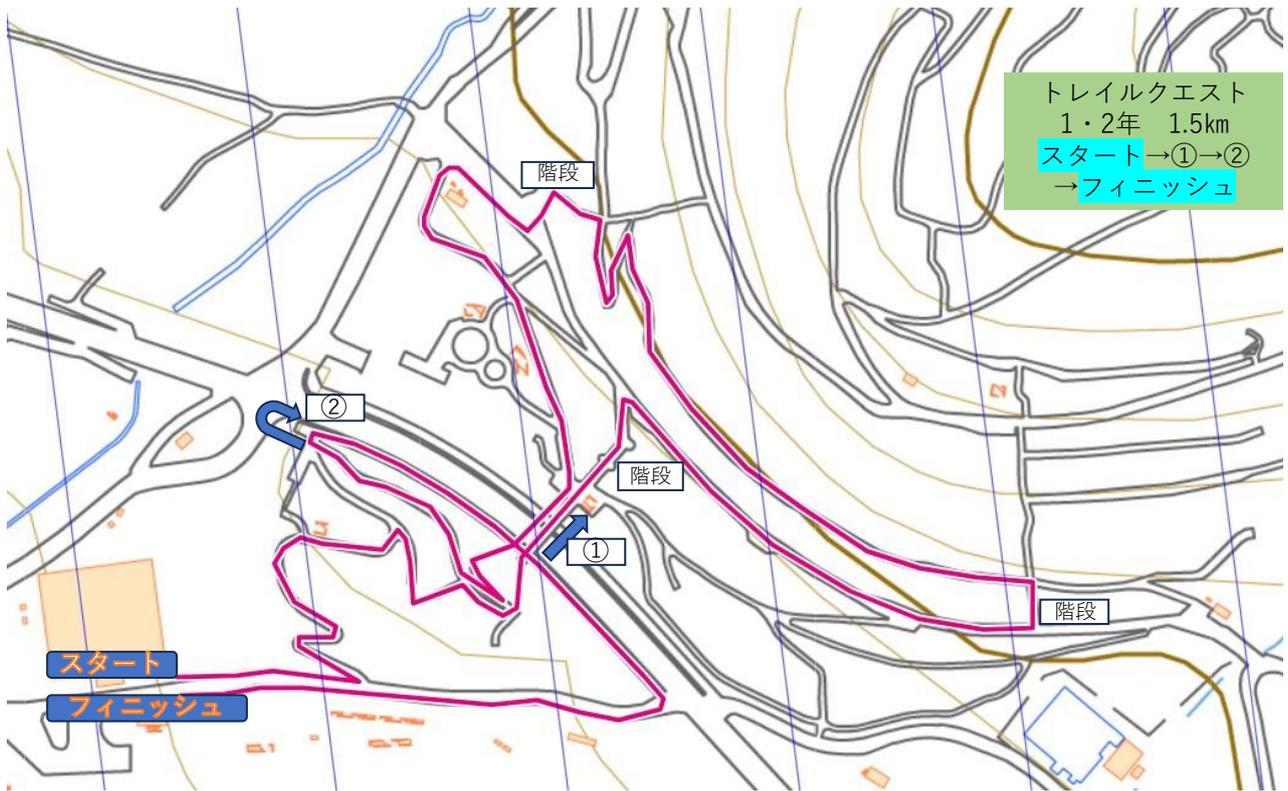
リリールート 55 km、3600mD+



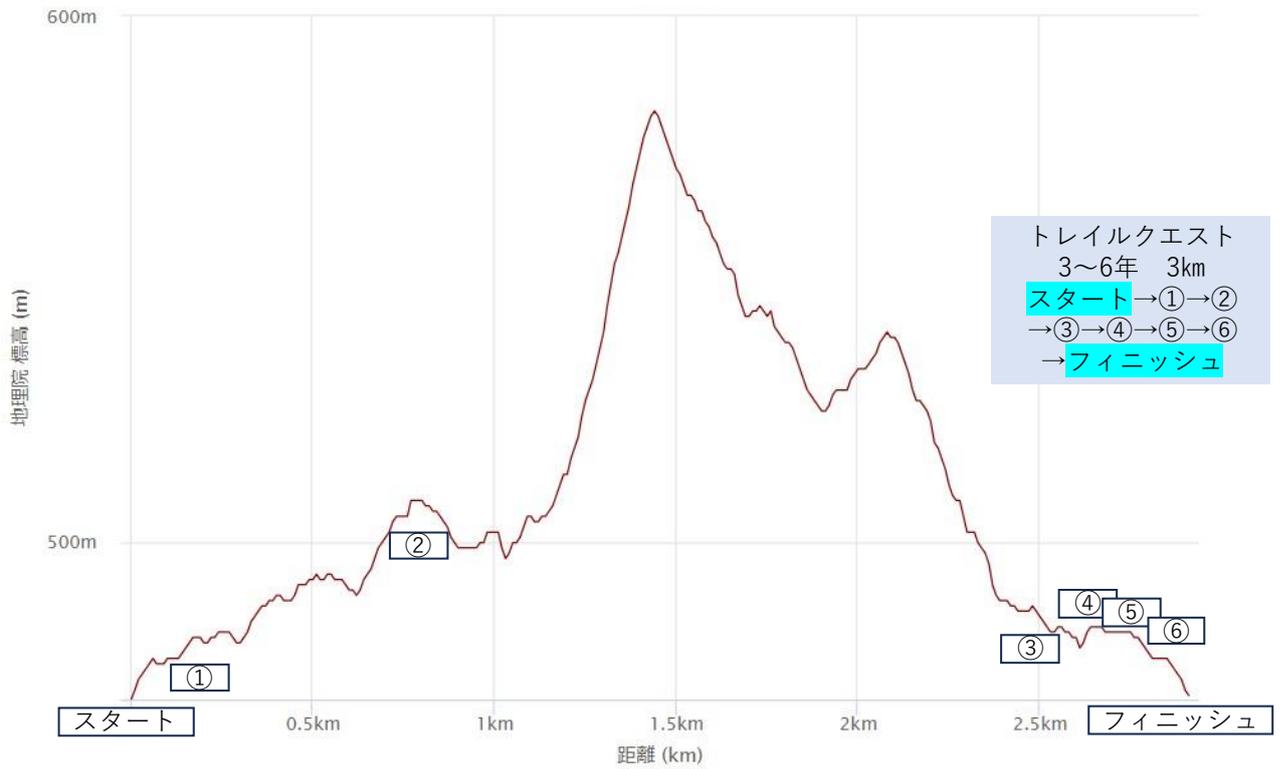
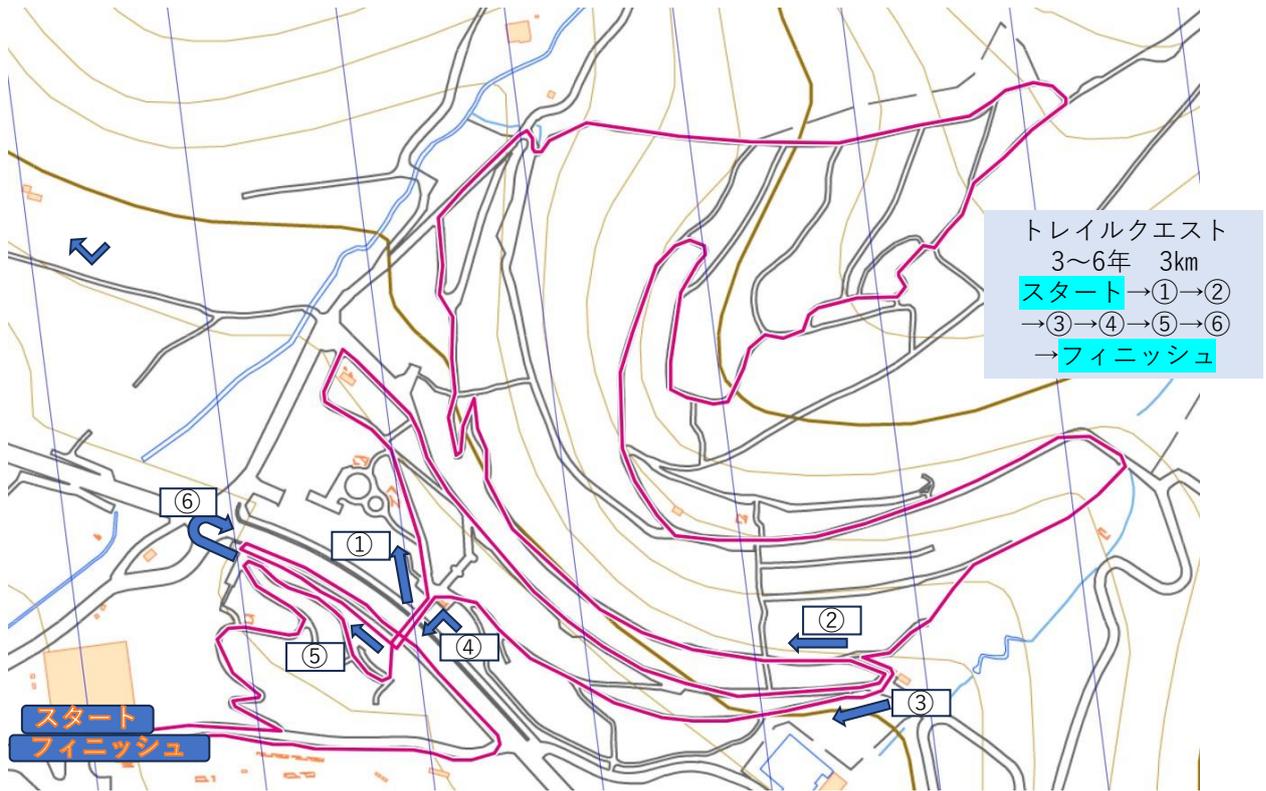
クレーシャ 108 km、6500mD+ (オートルート+マロニエルート)



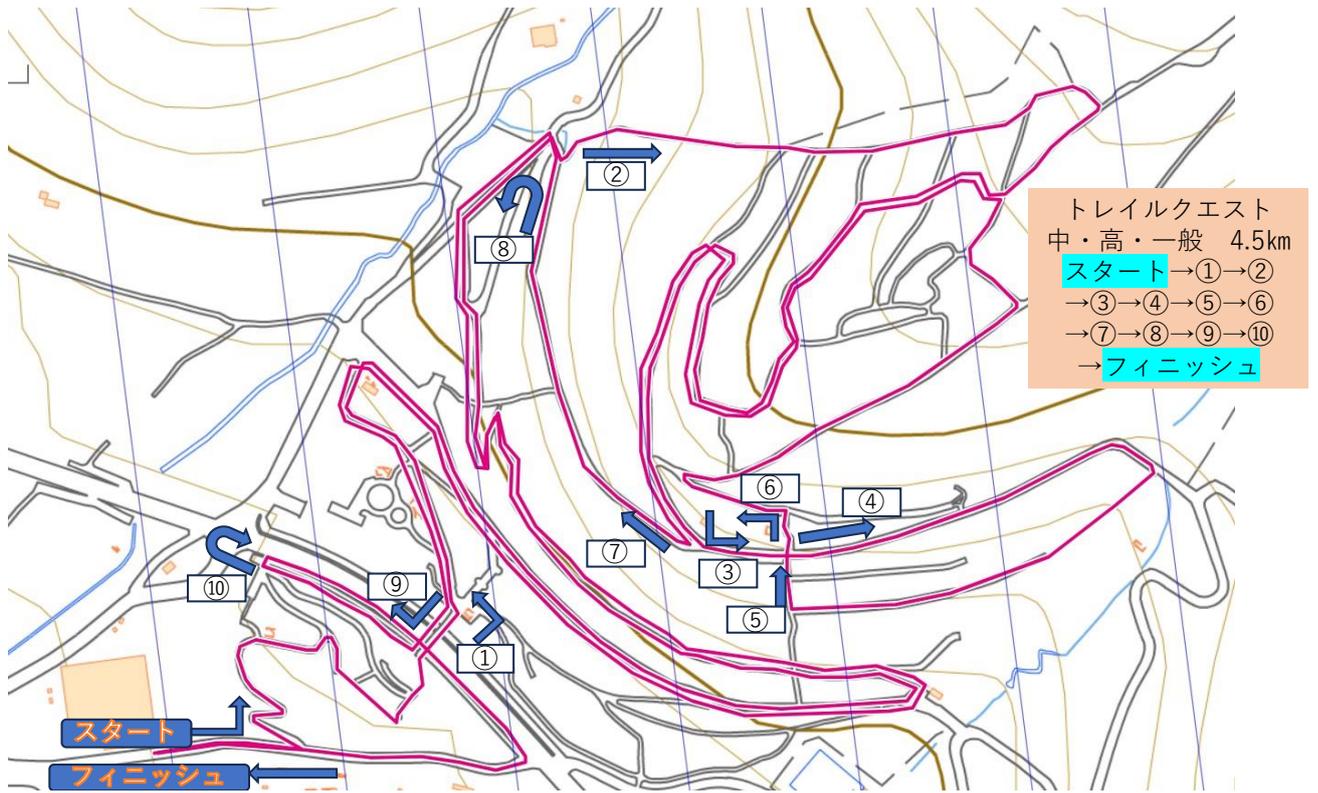
トレイルクエスト 1・2年の部、1.5 km



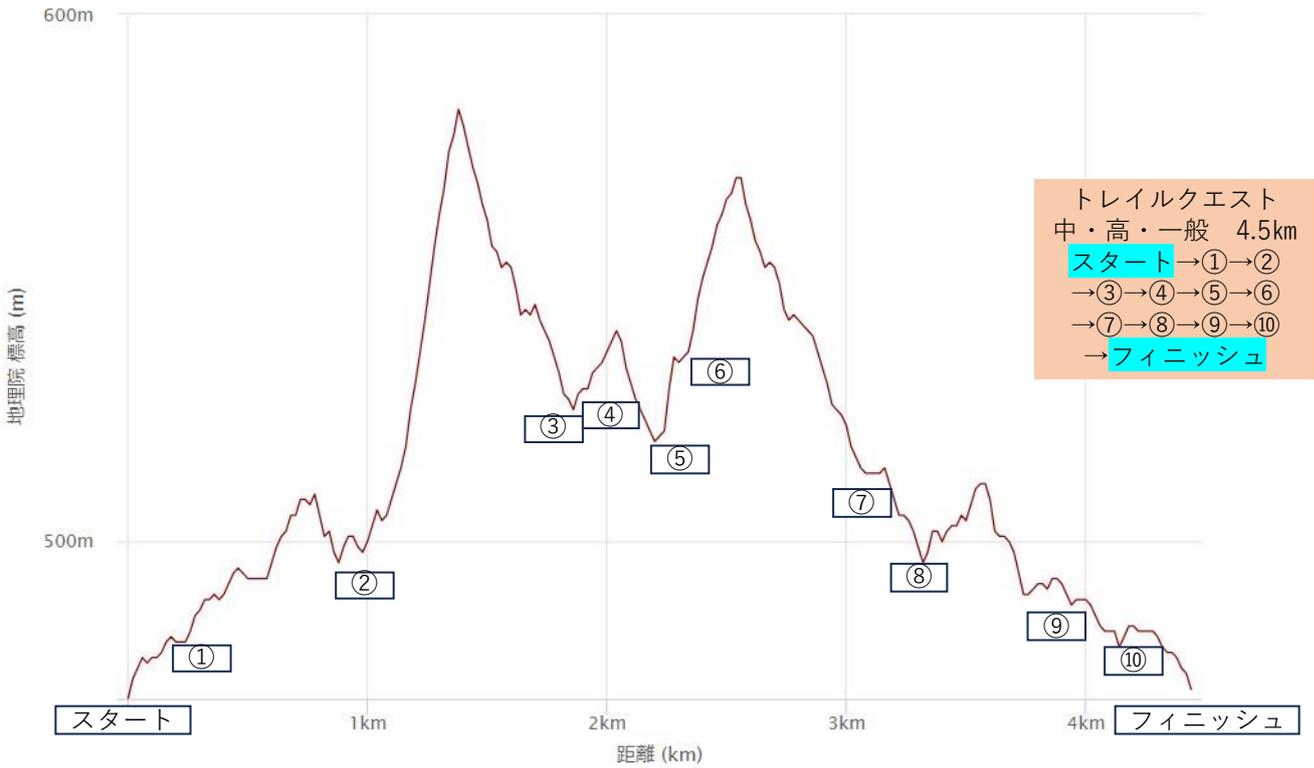
トレイルクエスト 3・4・5・6年、3.0 km



トレイルクエスト中学生の部、高校・一般の部、4.5 km



トレイルクエスト
中・高・一般 4.5km
 スタート → ① → ②
 → ③ → ④ → ⑤ → ⑥
 → ⑦ → ⑧ → ⑨ → ⑩
 → フィニッシュ



トレイルクエスト
中・高・一般 4.5km
 スタート → ① → ②
 → ③ → ④ → ⑤ → ⑥
 → ⑦ → ⑧ → ⑨ → ⑩
 → フィニッシュ